

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讚法要 お待ち受け記念講演会・シンポジウム

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

人・人間・衆生

－人と生まれたことの意味をたずねて－

2023年に宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年という大きな節目を迎える今、現代社会に生きる私たちが、共に親鸞聖人の教えを聞思し、現在の社会にどのような問題があるのかを考える記念講演会・シンポジウムを開催します。

2021.4.4 (日)
開会13:30／閉会17:00

インターネット
ライブ配信実施!!

※新型コロナウイルス感染防止の観点から聴講受付を行わず、
インターネットライブ配信のみ行います。

日 程

13時30分	開会
13時40分	基調講演 「コロナが教えてくれた 人間の生きる意味」
14時40分	休憩
15時00分	シンポジウム
17時00分	閉会

基調講演・シンポジウムパネリスト

山極 寿一 氏

(京都大学名誉教授・前京都大学総長)



<メッセージ>

文明の転換点に立っている私たちは、新型コロナウイルスによって新たな生き方を考える必要に迫られている。それを人類の進化史と文明史を振り返り、現代の科学技術の効用を見据えながら模索してみようと思う。

シンポジウムパネリスト



小原 克博 氏 (同志社大学神学部教授、神学部長・神学研究科長、良心学研究センター長)

<メッセージ>

科学的世界観と宗教的世界観のはざまで、どのような人間理解を持つことができるのか。ポスト・コロナの時代の課題を展望したいと思います。



楠 信生 氏 (真宗大谷派教学研究所長)

<メッセージ>

新型コロナウイルス感染症で、人との出会い、集まりを重視してきた寺院の生活が大きく変わった。しかし、人間にとてなくてはならないことを考える時を得たのも事実である。新たな一步となることを願って。

コーディネーター



一楽 真 氏 (大谷大学文学部教授・小松教区宗圓寺住職)

<メッセージ>

姿形は人間であっても、それだけで人間と言えるのだろうか。何をもつて人間だと言えるのか、人として生きるとはどのようなことなのか。パネリストの先生方にお聞きしながら、ご一緒に考えたいと思います。

開催趣旨

現代は、移植・再生医療やAIの急速な発達、また新型コロナウイルスの感染拡大の問題によって大きく社会のあり方も変わろうとしています。このような社会にあって、私たちは今後ますます生物として命があること以上に、人として生まれ、生きることの意味について考えていく必要があるのでないでしょうか。そこで、現代の人間そのものが問いとなっていく機会としたいと思います。

基調講演では、霊長類の研究を通して人類のあり方に鋭い視点を当ててこられた山極寿一氏から問題提起をいただきます。山極氏は、人間の生き方をゴリラやチンパンジーに照らすことによって、人間を外側から観察し、理解することの重要性を提示されてきました。そして、知能の増大を目指してきた科学技術だけに頼る社会のあり方には限界があるとし、人間に生きる意味を与えてきた宗教の可能性を述べておられます。

シンポジウムでは、真宗学を研究されている大谷大学の一楽真氏によるコーディネートのもと、キリスト教神学者である同志社大学の小原克博氏、仏教者である真宗大谷派教学研究所の楠信生所長から基調講演についてコメントをいただき、ディスカッションを行います。

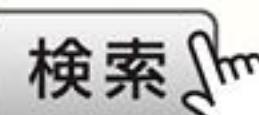
あらためて私たちは、親鸞聖人の和讃における「よしあしの文字をもしらぬひとはみなまことのこころなりけるを 善惡の字しりがおは おおそらごとのかたちなり」との言葉を、科学的知性に偏重する我々に対する重大な警鐘であると受けとめ、「十方衆生」と仏から願わされている存在であることの意味を考え、人と生まれた意味を見いだしていきたいと思います。

インターネットライブ配信のご案内

「お待ち受け記念講演会・シンポジウム」は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場での聴講受付を行わず全日程をインターネット中継にてお届けします。

当日、時間になりましたら「東本願寺公式YouTubeチャンネル」にアクセスしてください。

※配信状況・受信状況により、配信が途切れる場合があります。その際はしばらく経った後に再度、読み込みを行ってください。

YouTube 真宗大谷派 公式 

https://www.youtube.com/channel/UCLPB2H1qV_1BjH1KAVizzfA



お問い合わせ

真宗大谷派 教学研究所

〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199 しんらん交流館

TEL:075-371-8750 慶讃法要特設サイト <https://kyousan.higashihonganji.or.jp/>

